静岡新聞で学ぼう

Newspaper in Education

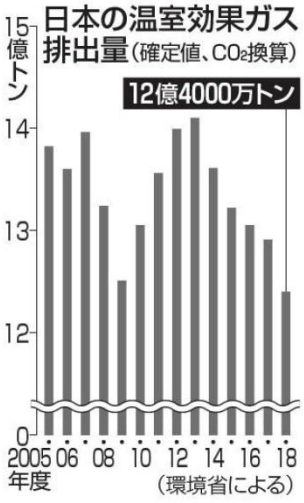
静岡新聞

2020年
4月14日
夕刊

国内温室ガス□は増

18年度 代替フロンは増

環境省は14日、国内の2018年度の温室効果ガス排出量は、二酸化炭素（CO_2）換算で前年度比3・9％減の12億4千万トンだったとの確定値を発表した。統計を取り始めた1990年度以降最も少なく、5年連続の減少。原発の稼働増や暖冬などが要因としている。



一方、強力な温室効果があり、エアコンの冷媒などに使われる代替フロン類の排出は増加傾向が続く。このうちハイドロフルオロカーボン（HFC）類は前年度比4・7％増加。政府は今月から違法廃棄の罰則などを強化し、排出抑制を図る。

日本は先月、パリ協定に基づき30年度の排出削減目標を国連に再提出した。これまでと同じ「13年度比26％減」に据え置いたが、18年度は13年度比12％減で大きな開きがある。環境省は「達成は楽観視できず、官民で削減を進める」とした。

18年度は9基の原発が稼働し発電量は前年度の約2倍になった。太陽光や風力の発電量も1割以上増えてCO_2を出さない発電が拡大。家庭では暖冬で暖房用の都市ガスや灯油の利用が抑えられ、省エネ家電も普及して排出が11・1％減った。

① 記事の見出しの□にあてはまる言葉を次から選び、その記号を書きなさい。

ア 増加　イ 最小　ウ 最高　エ 2倍

[　　]

② 記事中の二酸化炭素（CO2）の排出量が減った理由が書かれている部分を□で囲みなさい。

③ 記事を参考に、増加している代替フロン類の排出量を減らしたり、二酸化炭素（CO2）の排出量をさらに減らしたりするために私たちが心がけるべきことを30字以内で書きなさい（句読点を含む）。

年　　組　　名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター　矢沢和宏

（中学校・高校／国語・総合）